

# 6C41C 低電圧CIRCLOTRON OTLアンプ

ARITO@伊吹南麓



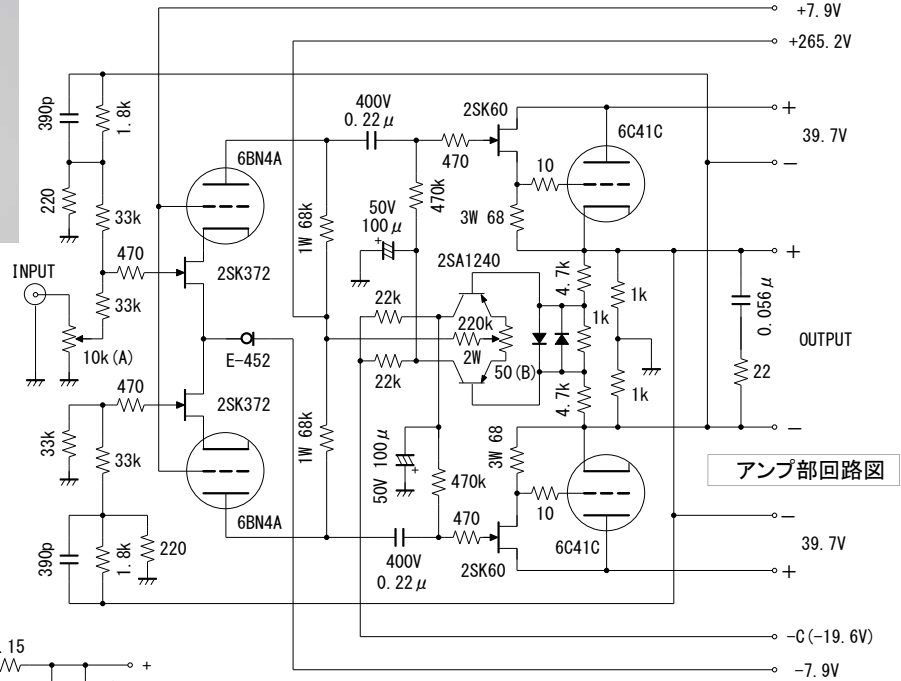
本機は私の真空管OTLアンプ挑戦の二作目で、初のモノラル形式のアンプです。OTL第一作もサークロトンでしたが、今回は電源電圧をかなり低く設定しました。出力段のグリッド電圧をプラスの領域まで使い、加えてドライブ段も出力参加するというで電源電圧低下による出力減少分を補っています。ドライブ段には今ならSITと呼ばれる縦型FET、ソニー2SK60を起用しました。この素子はデプレッション型ですので、アイドリング時にグリッド電圧が既にプラス領域になっている出力段との組み合わせに都合がよく、またゲートに電流が流れない電圧ドライブとなりますので、ドライブ段へ電流を流し込むのが難しいフローティング電源との相性も抜群です。

電圧増幅は東芝のJ-FET、2SK372の差動+6BN4Aのカスコード回路の一段で出力段をドライブしています。高gmのFETを使い、十分なゲインを稼ぐことができました。

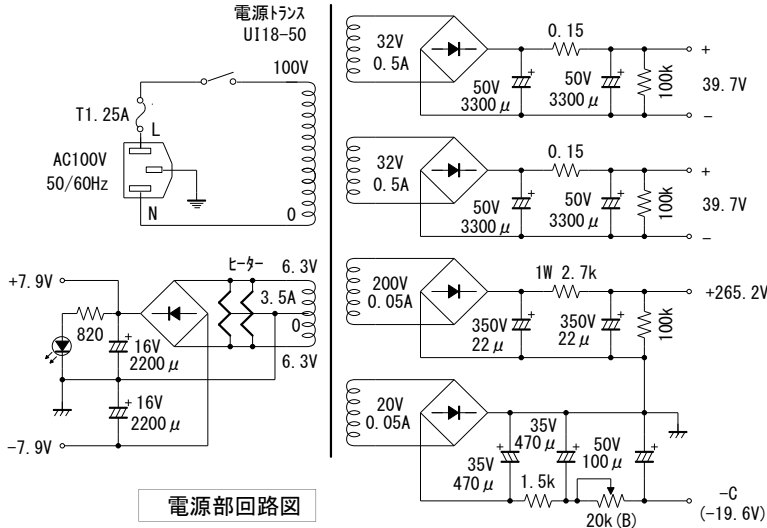
残留雑音 10~300kHz IEC-A  
211.8μV 52.47μV

ダンピングファクター (注入法、1kHz、1V、8Ω)  
19.22

2012. 12. 9  
前川有人(滋賀県米原市)



アンプ部回路図



電源部回路図

